

# キャリアセミナー2021日程案

豊富な経験を有する講師とともに、働くとは何か、そして仕事と地域や世界とのつながりについて考えます。テーマ別の分科会ごとに、ワークショップやディスカッションを取り入れた、メディア講義形式の集中授業です。

## <国際キャリア教育、International Career Seminar共通>

### ■オンラインオリエンテーション

国際キャリア教育：2021年7月20日(火) 18:00~19:30

ICS：2021年7月21日(水) 18:00~19:30

1日目

9:30~17:50

午前
開講式/オリエンテーション
全体講義/グループディスカッション
--- 昼食休憩 ---
午後
パネルトーク
趣旨説明/発表プレゼン方法説明
分科会Ⅰ(分科会講師による講義等)

2日目

8:30~18:30

午前
分科会Ⅱ (グループディスカッション、発表準備等)
--- 昼食休憩 ---
午後
分科会Ⅲ
中間発表
発表準備

3日目

8:30~15:00

午前
発表準備
全体発表
--- 昼食休憩 ---
午後
ふりかえり/意見交換/全体総括等
閉講式



日程は変更になる場合がありますのであらかじめご了承ください。

### 申し込み方法

申込方法：1. 申込フォームから (<http://www.kokusai.utsunomiya-u.ac.jp/career-program/registration/>)

2. 申込用紙の送付 (申込用紙請求先メールアドレス：kokuca@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp)

申込開始：2021年6月1日(火) 申込締切：2021年6月30日(水) (定員になり次第締め切ります。)

分科会：原則先着順としますが、人数に偏りがある場合は調整させていただきます。

### 問い合わせ先

宇都宮大学 国際学部 〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350 TEL.028 (649) 5172/FAX.028 (649) 5171  
E-mail kokuca@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp



## グローバル時代のキャリア形成を考える

# 国際キャリア教育プログラム

参加者募集

## 2021 国際キャリア教育セミナー開講!!

### 国際キャリア教育

日時  
2021年9月18日(土)  
~9月20日(月祝)

定員：50名(先着順)

### International Career Seminar

日時  
2021年9月25日(土)・  
10月2日(土)・3日(日)

定員：50名(先着順)

### 共通事項

参加費：無料 ※ネットワーク通信料は自己負担となります。

会場：全日程、Zoom等によるメディア授業で実施。ご自宅からご参加いただけます。

備考：各自、メディア媒体の準備(PCからの参加を推奨します)、および、安定したインターネット環境の確保をお願いします。上記日程の他、オンラインオリエンテーション授業を実施します。

詳細はホームページでご確認ください!!

国際キャリア教育プログラム <http://www.kokusai.utsunomiya-u.ac.jp/career-program/>

※「国際キャリア教育」及び「International Career Seminar」は、栃木県からの支援を受けて大学コンソーシアムとちぎが開講する「とちぎグローバル人材育成プログラム」の共通科目として、大学コンソーシアムとちぎ、宇都宮大学が実施するものです。



主催：大学コンソーシアムとちぎ、宇都宮大学  
後援：(公社) 栃木県経済同友会、  
(公財) 栃木県国際交流協会、  
NPO法人宇都宮市国際交流協会、  
いっくら国際文化交流会、JICA筑波センター  
協賛：(公財) あしぎん国際交流財団  
特別協力：宇都宮市創造都市研究センター





## 国際キャリア教育 グローバル時代のキャリア形成を考える

全体講義

### 混迷の時代の国際キャリアを考える ー真のグローバル人材に必要な条件ー

講師：重田 康博 (しげた やすひろ)

宇都宮大学 国際学部 教授、国際キャリア教育運営委員会委員長



全体講義内容：

今世界は混迷の時代と言われています。その混迷の時代を生きるための真のグローバル人材とは何か、その必要な条件を具体的な事例を示しながら紹介し、国際キャリア形成について考えます。

プロフィール：

1956年生。北九州市立大学大学院社会システム研究科博士後期課程修了（博士・学術）。国際協力推進協会（APIC）主任研究員、クリスチャン・エイド客員研究員（イギリス・ロンドン）、NGO活動推進センター（現、国際協力NGOセンター、JANIC）主幹等を経て宇都宮大学国際学部教授、専門は国際開発研究、国際NGO研究。開発教育協会評議員、JVCとちぎネットワーク代表。福島原発震災に関する研究フォーラム・アドバイザー。著書に『NGOの発展の軌跡』（明石書店 2005）、『国際NGOが世界を変える』（共著、東信堂 2006）、『第4章ミレニアム開発目標』田中治彦編著『開発教育ー持続可能な世界のために』（学文社 2008）、『激動するグローバル市民社会ー慈善から公正への発展と展開』（2017）他。

分科会

分科会講師は変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

国際ビジネス

### A. “ニッチ”を突き詰めて ～アジア取材という生業～

講師：谷澤 壮一郎 (たにざわ そういちろう)

DNA ASIA Production (在ジャカルタ) ディレクター・プロデューサー

分科会内容：

私が過去20年、関心を持ってきた東南アジア。このあまりにユニークな地域の実像を、企画や番組として発信し、かつビジネスとして成立させるには何が必要なのか。何の後ろ盾もなく起業してしまった男の実験論です。

プロフィール：

1983年生まれ。インドネシアに交換留学後、宇大国際学部を卒業。番組制作会社に所属し、NHK「BSきょうの世界」ディレクターに。2012年からは、NHK英語放送のバンコク駐在ディレクターとして、アジア各国の社会情勢や災害などを取材。その後、ジャカルタにプロダクションを設立。アジアに特化したニュース企画・番組制作を行う。



異文化理解コミュニケーション

### B. ～コーチングを使った コミュニケーションの極意～

講師：山本 純子 (やまもと じゅんこ)

ヤマゼンコミュニケーションズ株式会社 常務取締役

分科会内容：

異文化を理解するために必要なスキルはコミュニケーションです。そしてコミュニケーションをとるうえで最も大切なのは、“自分を知る”ということ。自分自身と向き合い、価値観や信念を理解すれば、世界中の人とよりスムーズなコミュニケーションをとることができます。

プロフィール：

フェリス女学院大学卒業後、祖父の経営する印刷・広告会社に入社。2012年にICC Executive Coachの資格を取得したことをきっかけに企業向け人材育成のためのコーチングを始める。又、2018年からはMBAを取得するためにUniversity of Massachusetts Lowellに入学。2人の娘の母としても奮闘中。



国際協力・国際貢献

### C. 学際フィールドワークを試してみる

講師：大久保 達弘 (おおくぼ たつひろ)

宇都宮大学 農学部 森林科学科 教授

分科会内容：

農林水産分野における自然資源の持続的な利用と管理に関する課題を取り上げ、現場での研究フィールドワークの進め方を考えます。またその課題解決プロセスでチームワーク、個人の選択や能力の最大化などを体験します。

プロフィール：

1959年東京生まれ、宇大農学部で林学を学ぶ。大学院で埼玉県荒川源流、欧米の落葉広葉樹林の生態研究に取り組む。その後、東南アジア熱帯のマレーシア、タイ、中国で森林の更新、地域住民の森林利用を各国研究者と共同研究、2005年米国の専門職大学院に研究滞在。最近マレーシア・サラワク大学英語研修に引率教員で参加。



国際協力・国際貢献

### D. 何を大切にするかによってキャリアは変わる。

講師：大澤 みずほ (おおさわ みずほ)

特定非営利活動法人 日本国際ボランティアセンター (JVC) パレスチナ事業担当

分科会内容：

自分の中で何を大切にするか、それによって選ぶ道やステップも変わっていきます。国際協力と言っても様々な形があるので、私や私の周りの人の経験を紹介しながらどんな道があるのか一緒に考えたいと思います。

プロフィール：

看護師として日本の病院で救急医療に従事した後、青年海外協力隊（看護師・パラグアイ）に参加。帰国後に日本の緊急支援NGOでのインターンを経て、2018年にJVCに入職し、現在パレスチナ事業を担当。



多文化共生と日本

### E. 元リクルートのキャリアコンサルタントと考える、ジェンダーとキャリア

講師：石井 由貴 (いしい ゆき)

Joy Living Lab.代表、キャリア戦略カレッジ共同主宰 キャリアコンサルタント

分科会内容：

コロナ、気候変動など変化が激しい現代、どんな風にキャリアを形成していけばよいか？そんな誰も答えをもっていない問いを、ジェンダーの観点、転職市場の現場の観点を交えながらみなさんで考えられたらと思います。

プロフィール：

慶應大総合政策学部、東大新領域創成科学研究科にて福祉の社会学を学ぶ。新卒でリクルートキャリアに入社し9年間転職支援事業に携わる。現在はキャリアコンサルタントとして一人ひとりが自分らしいキャリアを作っていくためのセミナー・コンサルティング・執筆・講演を行う。筑波大学博士課程に在籍中。2児の母。



多文化共生と日本

### F. いくつかの日本 ～アイヌ民族から考える多文化共生～

講師：若園 雄志郎 (わかぞの ゆうしろう)

宇都宮大学 地域デザイン科学部 コミュニティデザイン学科 准教授

北海道大学 アイヌ・先住民研究センター 客員研究員

分科会内容：

日本における先住民族としてアイヌ民族が挙げられます。日本は多くの民族と多様な文化によって構成されています。日本の文化と歴史の問題である「多文化共生」について皆さんと議論しながら考えていきます。

プロフィール：

北海道釧路市出身。北海道大学アイヌ・先住民研究センター博士研究員を経て、2013年より宇都宮大学基盤教育センターでアクティブ・ラーニングの推進に携わる。2016年より現職。専門は社会教育、マイノリティ教育。近年はアイヌ民族に関する諸問題に加え、社会教育の視点から高校と地域の連携などについての研究をしている。



## International Career Seminar Globalization and Glocalization

全体講義

### Critical Thinking and Reasons for Being: Finding Meaningful Work in A Global Age

講師：Barbara MORRISON, Ph.D. バーバラ モリソン

宇都宮大学 国際学部 准教授



全体講義内容：

In this group session we will be talking and thinking about 生きがい and the ways in which we can begin to bring a sense of meaning (raison d'être: reason for being) into our work lives. Using critical thinking as a guide, we will work together to understand how to both discover and cultivate what is meaningful for each of us in order to pursue and to accomplish careers both domestic and abroad.

プロフィール：

My career path has been varied to say the least and not without defeats. Very early in my career I understood that my best life lay in education and academia, but as I felt my family was unsupportive of that endeavour I turned to business - taking positions in real estate and head-hunting after having explored careers in law, government, retail, journalism, non-profit and the arts - before eventually finishing degrees in both Japanese and English literature.

分科会

分科会講師は変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

### 入門 Introductory Work Session

異文化理解コミュニケーション

### A. Why Do We Work?

講師：Amin GHADIMI, Ph.D. アミン ガデミ

宇都宮大学 国際学部 助教

分科会内容：

This seminar considers the intellectual and cultural dimensions of economic activity. What meaning is ascribed to work in contemporary Japan? What meaning should be ascribed? And what difference does it make, anyway?

プロフィール：

Amin Ghadimi teaches cultural and social theory at Utsunomiya University and studies the global intellectual history of modern Japan. His most recent research project examines perceptions of Ottoman despotism during the Japanese civil war of 1877. Born and raised in Kobe, Ghadimi completed his professional training as a historian in the United States. He has lived in various places across the Asia-Pacific region, including China and the South Pacific country of Vanuatu.



国際協力・国際貢献

### B. Taking Peace Seriously : Towards the Understanding of International Humanitarian Assistance

講師：Hiroshige FUJII 藤井 広重

宇都宮大学 国際学部 助教

元内閣府国際平和協力本部事務局 国際平和協力研究員

分科会内容：

The aim of this course is to deepen the understanding of post-conflict situations through humanitarian assistance. Upon completion of this course students will be able to clarify the five types of peace operations and advance their own career development.

プロフィール：

Fujii Hiroshige is an Assistant Professor at Utsunomiya University who specializes in International Human Rights Law and Peacebuilding in Africa. He has professional experience in the Philippines, Ghana, the Netherlands and South Africa, as well as having engaged in UN Peacekeeping Operations in South Sudan as a Program Advisor in Japan's Cabinet Office. The Japanese Government dispatched Fujii to Mali Peacebuilding Center as an expert of International Criminal Justice in July 2015. Fujii's website is <https://www.fujiih.com/>.



国際協力・国際貢献

### C. Learning From Yesterday For A Safer Tomorrow; Skills Required in the Age of New Normal

講師：Takeshi KOMINO 小美野 剛

CWS Japan 事務局長

分科会内容：

This course explores the evolution of the disaster risk reduction field, as well as the critical skills required in this ever prone disaster time of our lives; the New Normal. We will explore learning from experience and discover strengths to be derived from each student's participation in the dynamics of their hometown.

プロフィール：

General Secretary of CWS Japan, and Co-chairperson of Japan Platform. Also serves as Secretary General and a member of Executive Committee for Asian Disaster Reduction and Response Network (ADRRN), joint secretariat of Japan CSO Coalition for DRR (JCC-DRR), and the chairperson of Japan Quality and Accountability Network (JQAN). He graduated from Doshisha University, and holds Development Studies M.A. from Brandeis University.



国際協力・国際貢献

### D. Fair Trade : Can This be the Way to Work Together Equally and Beyond the Relationship of Supporters and Beneficiaries?

講師：Chisato TAKAHASHI 高橋 知里

特定非営利活動法人パルシック (PARCIC) 東京事務所 民際協力担当

分科会内容：

In this workshop we are exploring and coming to terms with our understanding of the concept of Fairtrade. In the process we are considering Fair Trade not just in terms of transactions but as a dynamic means of building relationships between producers, traders and consumers in a global context.

プロフィール：

I have about 10 years of experience in international development, mainly in community development and Fair Trade in Sri Lanka. After I obtained my PhD in Behaviour Science at Hokkaido University, I completed my Master's in International Development at Flinders University, Australia. Then, I joined PARCIC, a Tokyo based NGO and worked as a project coordinator to support tea smallholders in Sri Lanka. I started working at the Tokyo office of PARCIC this year.



### 中級以上 Intermediate Work Session (TOEIC550点程度以上から)

環境ガバナンスと多文化共生

### E. Pathway to Well-Being; Dreams, Skills and Jobs

講師：Bernadett KISS, Ph.D. バーナデット キッシュ

宇都宮大学 国際学部 外国人研究員

ルンド大 (スウェーデン) 講師

分科会内容：

Finding your 'path' in life is not always straightforward, sometimes you might require support along the way. In this session, we will explore personal strengths, reflect on individual preferences and see how these can offer us sustainable lifestyles in our future careers.

プロフィール：

My career has followed a winding trail across a variety of landscapes, countries, disciplines and professions. While the destination has not always been clear, certain interests and values have carved my path and given me plenty of life experience. In the past 20 years, I have worked in different multicultural environments with a variety of actors in the field of communication, human resources and environmental project management. Today I am an environmental researcher, but, who knows what tomorrow brings.



国際ビジネス

### F. Advising Foreign Exporters on the Japanese Market

講師：Ritter N. DIAZ リッテル ノベル ディアス

Charlie Trading & Consulting, S.A. 代表

日本ラテンアメリカ・カリブ海振興協会 (JAPOLAC) 代表理事

分科会内容：

This group session will introduce some ideas and basic information on how to help foreign exporters sell their goods in the Japanese market. In this way we will explore a career path involving international business.

プロフィール：

After serving almost 20 years at the Embassy of Panama in Japan as an Economic Counsellor, Ritter Diaz became an international business consultant between Japan and Latin America. He also worked for the largest bank of Panama, Banco General and Panasonc Latin America. He received a BA in Political Science from the University of Wisconsin-Eau Claire, a Master Degree in International Political Economy from the Tsukuba University and an Honorary Doctor Degree from Chiba University.

